

令和元年度

工事における入札・契約制度に関するアンケート

報告書

# 目 次

1	調査の概要	
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の内容	1
(3)	調査の仕様	1
(4)	回収結果	1
(5)	集計上の留意事項	1
2	調査結果の詳細	
(1)	基本事項について	2
(2)	成績重視型入札について	3
(3)	総合評価落札方式について	4
(4)	くじ引き落札の抑制対策について	7
(5)	入札・契約制度全般に関する自由意見	8
3	資料	
(1)	工事における入札・契約制度に関するアンケート調査票	9
(2)	総合評価落札方式の技術評価項目比較表	16

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

昨年6月に「建設業法」、「入契法（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律）」及び「品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）」を一体として改正する「新・担い手3法」が成立したところであり、建設業の働き方改革、将来の担い手を確保するための動きがますます重視されているところです。

本アンケート調査は、本市の建設業の健全な発展や現場で働く方々の労働環境の改善に寄与する入札・契約制度の実現に向けて、現状の入札・契約制度の課題、問題点等を把握するために実施したものです。

## (2) 調査の内容

- ① 直近1年間の入札参加状況と成績平均点の保有状況に関する項目
- ② 成績重視型入札に関する項目
- ③ 総合評価落札方式に関する項目
- ④ くじ引き落札の抑制対策に関する項目
- ⑤ 入札・契約制度全般に関する自由意見

## (3) 調査の仕様

- ① 調査対象 平成30年12月1日から令和元年11月30日の期間において、工事又は道路維持除雪業務の入札に参加した663社
- ② 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ③ 調査期間 令和元年（2019年）12月20日～令和2年（2020年）1月17日

## (4) 回収結果

- ① 発送数 663
- ② 回収数（率） 397（59.9%）

## (5) 集計上の留意事項

- ① 調査結果における構成比（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答が可能な設問（問3-1）における構成比（%）は、回答数に対する割合ではなく、回答者数に対する割合を示しているため、合計が100%を超えます。
- ③ で囲われた選択肢は、選択肢の中で、最も回答数の多いものを示しています。
- ④ 自由意見、要望等については、主な意見等を抜粋して掲載しています。また、誤字等を修正し、文意を損なわない範囲で内容を要約しています。

## 2 調査結果の詳細

### (1) 基本事項について

- ① 平成30年12月（令和元年度早期発注分）以降に、財政局契約管理課（交通局、水道局、病院局除く）発注工事に入札参加した工種・等級について、該当する選択項目全てに「○」の記載をお願いします。

土木A1	28	下水道B	66	造園C	4	電気C	2	建具	9
土木A2	57	下水道C	4	建築A	30	管A	28	通信	11
土木B	96	舗装A	52	建築B	37	管B	15	それ以外	6
土木C	8	舗装B	54	建築C	3	鉄骨・橋梁	16		
下水道A1	23	造園A	16	電気A	43	機械設備	23		
下水道A2	26	造園B	17	電気B	26	塗装	24		

- ② 成績平均点（令和元年8月21日の告示案件から適用）の保有状況について、該当する選択項目全てに「○」の記載をお願いします。

	土木A1	土木A2	土木B	下水道A1	下水道A2	下水道B	舗装A	舗装B
① 3年度及び5年度の平均ともに保有	22	50	69	17	20	40	40	27
② 5年度の平均のみ保有	1	4	8	0	4	6	5	2

	造園A	造園B	建築A	建築B	電気A	電気B	管A	管B
① 3年度及び5年度の平均ともに保有	16	7	23	30	33	17	23	10
② 5年度の平均のみ保有	1	2	2	3	5	3	2	0

## 2 調査結果の詳細

### (2) 成績重視型入札について

【問1-1】令和元年8月21日以降の告示から、「2年型」を「3年型」に変更しましたが、入札参加に対する意欲に影響がありましたか。該当するものを一つお選びください。

- 1 入札参加に対する意欲が上がった。…………… 7. 1%
- 2  入札参加に対する意欲に影響はなかった。…………… 48. 1%
- 3 成績平均点が下がり、入札参加に対する意欲が下がった。…………… 6. 0%
- 4 成績重視型入札に参加していない。…………… 35. 2%
- 5 その他（自由意見）…………… 3. 6%

<主な自由意見>

- 成績重視型入札に参加する意欲はあるが、成績平均点を有しておらず、入札に参加できない。
- 発注件数が少ないため、判断ができない。

【問1-2】今後、成績重視型入札をどのように運用すべきと考えますか。該当するものを一つお選びください。

- 1  「3年型」と「5年型」の2型式での運用をやめ、「3年型」に型式を一本化すべき。…………… 47. 6%
- 2 これまでどおり「2年型」と「5年型」の2型式での運用を行うべき。…………… 37. 3%
- 3 その他（自由意見）…………… 15. 1%

<主な自由意見>

- 「3年型」と「5年型」の2型式での運用を行うべきである。
- どちらでも構わない。
- 「5年型」に型式を一本化すべきである。
- 「10年型」を新設すべきである。
- 成績重視型入札自体を廃止すべきである。

【問1-3】成績重視型入札に関する、ご意見やご要望等があれば記入してください。

<主なご意見やご要望等>

- 検査員によって成績点にばらつきがあることから、評価基準を統一してほしい。
- 成績平均点を上げてほしい（品質確保・参加者厳選のため）。
- 成績重視型入札の発注件数を増やしてほしい。
- 成績平均点の算出方法を変更してほしい（管工種において水道局発注工事を一律で除外しない/受注実績のない年度は65点で計算/平均ではなく最高点を採用/高難易度工事等は加点等）。
- 成績平均点を下げてほしい。

## 2 調査結果の詳細

### (3) 総合評価落札方式について

【問2-1】貴社にとって、総合評価落札方式と一般競争入札（価格のみ）を比べた場合、入札参加意欲に違いがありますか。該当するものを一つお選びください。

- 1 総合評価落札方式の方が、入札参加意欲が高まる。…………… 19. 7%
- 2  総合評価落札方式でも一般競争入札（価格のみ）でも入札参加意欲に違いはない。…………… 43. 2%
- 3 総合評価落札方式の方が、入札参加意欲が低下する。…………… 37. 1%

【問2-2】総合評価落札方式は、くじ引きの抑制にもつながっており、今後も一般的な価格競争入札との発注バランスに配慮しながら拡大していく方針です。総合評価落札方式の拡大について、どう思いますか。該当するものを一つお選びください。

- 1  発注件数の拡大について賛成…………… 44. 5%
- 2 一括審査方式（※）の拡大についてのみ賛成…………… 32. 2%
- 3 その他（自由意見）…………… 23. 2%

<主な自由意見>

- 発注件数の拡大について反対
- 受注が固定化しないよう評価項目等を見直した上での拡大であれば賛成
- くじ引きが多発している工種等、総合評価落札方式の導入が必要な工事への拡大であれば賛成

※ 同一の入札参加資格で、評価項目を共通化した工事をグループ化して告示。開札順に、最も総合評価点が高い者を落札者として決定。落札者は以後に開札時間を設定している工事の入札が無効となり、グループ化した工事については、落札者が別々の企業となる。

## 2 調査結果の詳細

【問2-3】総合評価落札方式の技術評価項目として、以下の評価項目の見直しを検討しています。それぞれの項目の見直し又は新設について、「必要（賛成）」、「必要ではない（反対）」又は「どちらともいえない」を選択願います。

### ＜企業の評価＞（評価項目比較表②）

○「過去5年間の本市工事表彰回数（加点申請に基づき、本年度1回のみ評価）（②-オ）」について、地域貢献型などの他の型式でも評価を行う。	必 要	40.4%
	必要ではない	28.7%
	どちらともいえない	30.9%
○「IS09001又はサッポロQMSの取得状況（②-キ）」について、地域貢献型などの他の型式でも評価を行う。	必 要	43.0%
	必要ではない	32.7%
	どちらともいえない	24.3%
○本年度中の総合評価落札方式の契約実績が少ないほど、高い配点となる「総合評価落札方式による履行状況（入札者の申請に基づき、本年度1回のみ評価対象とし加点する。）（②-ツ）」について、工事でも評価を行う。（測量業務型で導入済）	必 要	39.2%
	必要ではない	22.5%
	どちらともいえない	38.4%
○中長期的な担い手確保の観点から、新規学卒者の他に35歳未満の中途採用者の雇用状況について評価を行う。	必 要	36.7%
	必要ではない	29.7%
	どちらともいえない	33.6%
○企業の取組について、国が認定している取得企業を評価する。		
・えるぼし認定企業（女性活躍推進法関連）	必 要	19.7%
	必要ではない	38.6%
	どちらともいえない	41.8%
・くるみん認定企業（次世代育成（子育てサポート）対策推進法関連）	必 要	19.9%
	必要ではない	37.9%
	どちらともいえない	42.2%

### ＜配置予定技術者の評価＞（評価項目比較表③）

○「若手や女性技術者の活用状況（③-ケ）」について、他の型式（実績評価I型・II型、地域貢献I型・II型）でも評価を行う。	必 要	31.1%
	必要ではない	33.8%
	どちらともいえない	35.1%
○配置予定技術者が、「登録基幹技能者又は有資格者（民間団体の技術資格保有者）」の場合、評価する。	必 要	38.7%
	必要ではない	31.6%
	どちらともいえない	29.7%
○配置予定（主任）技術者の他に、補助者として、若手技術者又は女性技術者を追加配置した場合、評価する。	必 要	38.6%
	必要ではない	30.4%
	どちらともいえない	31.0%

## 2 調査結果の詳細

### 〈地域貢献等の評価〉（評価項目比較表④）

○「本市の社会資本を支える地元企業の契約件数の状況（④-イ）」について、幅広い企業の受注機会の確保を図るため「本年度の契約件数」を「本年度を含めた過去2年度の契約件数」の評価とする。（※契約実績が少ないほど、配点が高い。）	<table border="0"> <tr> <td>必 要</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>必要ではない</td> <td>31.0%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>37.2%</td> </tr> </table>	必 要	31.8%	必要ではない	31.0%	どちらとも言えない	37.2%
必 要	31.8%						
必要ではない	31.0%						
どちらとも言えない	37.2%						
○高齢者（65歳以上）の雇用状況を評価する。							
<table border="0"> <tr> <td>必 要</td> <td>40.5%</td> </tr> <tr> <td>必要ではない</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>33.9%</td> </tr> </table>	必 要	40.5%	必要ではない	25.6%	どちらとも言えない	33.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用を評価する。</li> </ul>
必 要	40.5%						
必要ではない	25.6%						
どちらとも言えない	33.9%						
<table border="0"> <tr> <td>必 要</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td>必要ではない</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>19.8%</td> </tr> </table>	必 要	66.4%	必要ではない	13.8%	どちらとも言えない	19.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続雇用を評価する。</li> </ul>
必 要	66.4%						
必要ではない	13.8%						
どちらとも言えない	19.8%						
○本市のまちづくり活動に積極的に取り組む「さっぽろまちづくりスマイル企業」の認定企業を評価する。（令和元年7月から、企業認定制度開始。R1.11.末 現在 認定6社、登録13社）	<table border="0"> <tr> <td>必 要</td> <td>16.2%</td> </tr> <tr> <td>必要ではない</td> <td>37.7%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>46.1%</td> </tr> </table>	必 要	16.2%	必要ではない	37.7%	どちらとも言えない	46.1%
必 要	16.2%						
必要ではない	37.7%						
どちらとも言えない	46.1%						
<table border="0"> <tr> <td>必 要</td> <td>28.6%</td> </tr> <tr> <td>必要ではない</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>42.6%</td> </tr> </table>	必 要	28.6%	必要ではない	28.8%	どちらとも言えない	42.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定制度が始まったばかりであり、認定企業が少ないことから、企業の準備期間を設け、（数年後に）評価する。</li> </ul>
必 要	28.6%						
必要ではない	28.8%						
どちらとも言えない	42.6%						

### 【問2-4】総合評価落札方式に関するご意見やご要望等があれば記入してください。

#### 〈主なご意見やご要望等〉

- 受注者が固定化しているため、幅広く受注できるよう評価項目等を見直してほしい。
- 道路維持除雪業務は、共同企業体に加入できなければ元請実績が得られないため、評価方法等の見直しをしてほしい（下請実績も可/配点を低くする/評価項目から除外等）。
- 入札手続・評価項目が複雑であるため、手続の簡素化を図ってほしい。
- 受注機会の確保を図るため、契約件数の状況をより評価してほしい。
- 業界全体が人手不足であるため、若手・女性技術者の育成状況は評価しないでほしい。
- 調査基準価格以上の入札を評価する項目を追加してほしい。



## 2 調査結果の詳細

### (4) くじ引き落札の抑制対策について

【問3-1】くじ引き落札を抑制するため、他都市では、以下のような対策を行っています。札幌市では、総合評価落札方式の拡大以外に、どのような対策を進めるべきと考えますか。該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 1 積算に用いる単価等の一部非公開…………… 12.3%
- 2 ランダム係数の導入(※1)…………… 12.3%
- 3 くじ引き複数落札制限方式の導入(※2)…………… 49.9%
- 4 変動型最低制限価格方式の導入(※3)…………… 10.6%
- 5 成績重視型入札のような、一定の入札参加資格を設定する入札の拡大…………… 30.4%
- 6 くじ引きは、競争の結果なのでやむを得ないとする。…………… 45.7%
- 7 その他(自由意見)…………… 9.2%

<主な自由意見>

- 同一業者の受注数に制限を設けるべきである。
- くじ引き落札による受注数に制限を設けるべきである。
- 複合費、仮設費、準備費等において積極的に見積価格を採用すべきである。
- くじ負け件数に応じて、優遇措置を設けるべきである。
- 会社の所在地区分に制限をかけることで、入札参加者数を減らすべきである。

※1 落札決定の基準となる最低制限価格に、システムで無作為に発生させた係数(ランダム係数)を用いて、「変動後最低制限価格」を算出する方式で、入札ごとに最低制限価格等は変動。ランダム係数(0.995~1.005)は、開札時に応札者に開示

※2 同一工種・等級において、同一開札日にくじ引きにより落札できる件数を1件とする入札方式  
例) 土木B等級でくじ勝ち → 同一開札日の土木B等級2件目でもくじ勝ち=2件目の入札は無効  
土木B等級でくじ勝ち → 同一開札日の土木B等級2件目で通常落札=くじ勝ちではないので無効とはならない。

※3 実際の入札金額に基づいて、最低制限価格を算出する方式で入札ごとに最低制限価格は変動

## 2 調査結果の詳細

### (5) 入札・契約制度全般に関する自由意見

札幌市の入札・契約制度に関して、ご意見等ございましたら、記載願います。

<主なご意見等>

- 受注機会が確保されるよう、総合評価落札方式の評価項目の見直しや受注制限制度を導入してほしい。
- 入札参加資格（同種工事の施工実績）を緩和してほしい。
- 最低制限価格を引き上げてほしい。
- 工事の内容等に応じて、見積期間（積算期間）を柔軟に設定してほしい。
- 発注時期を平準化してほしい。
- 発注件数を増やしてほしい。
- 総合評価落札方式において、作業員の直接雇用を評価してほしい。
- 落札決定通知後の契約締結期限（5日間）を延長してほしい。
- 設計図書等に対する質問の回答を速やかにしてほしい。
- 入札書類等の電子化を導入してほしい。
- 労務費、材工単価等の見直しを検討してほしい。
- 調査基準価格を下回る入札は、元請・下請・資材業者の疲弊を招くことから、調査基準価格を下回る入札は失格にしてほしい。
- 建設機械の保有状況において、リースによる保有は評価しないでほしい。